

2022（令和4）年度 事業報告書

社会福祉法人山鳩会
あきつの園

1. 理念・方針

（1）法人理念

①障がいがある人に…

自分の持っている力を発揮しながら、普通の生活を営み、自らが社会に価値のあるものである事に気づき、自己実現していけるよう支援する。

②障がいがある人の家族に…

障がいがある人への思いを受け止め、それを実現していく。

③援助者には…

障がいがある人と共に歩みつつ、自己実現を図るために必要なサービスを提供し、常に向上的である人材に育てる。

④地域の方に…

共に生きていく環境を実現するために、お互いにメリットのある関わりを築いていく。

（2）基本方針

①個別のニーズや特性に応じて環境を整備するとともに、個々の能力を引き出し、平均工賃2万円台を維持する。

②職員は、利用者、保護者とのコミュニケーションを積極的に取り、人権を守り、自立の助長に繋がる支援をする。

③福祉施策や制度の動向など新しい情報を常に意識し、サービスに活かす。

④地域に向けた広報活動を積極的に行い、地域交流を図ることで、地域に開かれた事業所を目指す。

・利用者の特性を捉え、個別対応を取りつつ幅広い作業を活かして、環境調整や新たな手法を取り入れ個々の能力を引き出し、平均工賃2万円台を維持出来た。

・定期的な保護者会や個別面談を実施し、連絡が困難な保護者への対応を密に行ない、又、個別に利用者との意見交換や話合いの場を設け、積極的なコミュニケーションを心がけ人権の尊重に努めた。

・関係機関と連携を取り、支援体制を作り上げる事が出来た。近年、保護者の高齢化や利用者の生活能力に変化が見られ、法人内での異動や他機関への利用を行えた。

・コロナ禍によって地域の方が参加できる施設内での行事は実施出来なかったが、地域のごみ拾いを保護者参加で実施した。又、地域回収を通して地域貢献をすると共に、利用者や施設の理解を深める事が出来た。

（3）中期目標（令和4年度～令和6年度）

①研修等を通じて職員の資質向上を図り、チームとして課題に取り組むことで、サービスの質の向上を図る。

②市役所、医療機関、その他関係機関と連携する体制を作り上げ、利用者支援の仕組みを再構築し

ながら、法人内施設での日中活動を継続する。

③安定した作業を提供し、平均工賃2万円台の維持を目指す。

④積極的な情報開示、情報発信により、透明性のあるあきつの園を目指す。

- ・苦情解決や虐待など職員全体での研修を多く取り入れ、チーム内での意識向上に努め、利用者支援において質の高いサービス提供に努めた。
- ・福祉サービスを必要とする方や、将来を見据えて生活の場を検討している方など、必要に応じて関係機関との会議や連携を取り、様々なケースへの支援を行なった。
- ・コロナ禍であるが、受注製品や自主生産販売となるイベント等も再開され、既存の作業はもとより安定した作業を提供し、収入へと繋げた。
- ・保護者会や配布物、掲示物などを活用し、利用者や保護者、地域に向けて必要に応じた情報発信や、活動の様子や工賃の仕組み等の内容に理解を深めた。

2. 施設概要

- (1) 施設種別 指定障害福祉サービス事業（就労継続支援B型）
- (2) 利用定員 40名（現利用者数：40名）
- (3) 開所年月 平成24年4月（平成30年10月1日全面改修）
- (4) 施設規模 敷地面積 685.07㎡
延床面積 518.64㎡
建物構造 鉄筋コンクリート造（地上2階地下0階建て）
賃貸区分 （土地）市より賃貸 （建物）所有

3. 職員構成

(1) 雇用契約あり

職 種	配置人数
管理者	1名
サービス管理責任者	1名
支援員（常勤職員）	5名
保育士（常勤職員）	0名
調理員（常勤職員）	0名
事務員（非常勤職員）	1名
支援員（非常勤職員）	11名
保育士（非常勤職員）	0名
調理員（非常勤職員）	0名
看護師（非常勤職員）	0名
理学療法士（非常勤職員）	0名
作業療法士（非常勤職員）	0名
合 計	19名

(2) 嘱託

医師（2回／年）	1名
----------	----

看護師	(0回/年)	0名
理学療法士	(6~8回/年)	1名
作業療法士	(0回/月)	0名
合 計		2名

4. 利用者状況（令和5年3月31日現在）

(1) 障害程度

	1	2	3	4	未定	合計
愛の手帳	4名	15名	13名	8名	0名	40名
身体障害者手帳	6名（重複）					6名
精神保健手帳	0名					0名

※身障手帳・精神保健手帳と重複

(2) 年齢構成（平均年齢 34.5歳）

	19歳以下	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60歳以上	合計
男	3名	9名	7名	9名	3名	0名	31名
女	2名	3名	2名	1名	1名	0名	9名
合計	5名	12名	9名	10名	4名	0名	40名

最低年齢 男…18歳 女…18歳 最高年齢 男…55歳 女…54歳

平均年齢 男…34.8歳 女…33.4歳

(3) 担当福祉事務所

東村山市	東久留米市	足立区	入間市	清瀬市	所沢市	合計
26名	2名	1名	2名	7名	2名	40名

(4) 障害支援区分

区分	1	2	3	4	5	6	未定	合計
人数	0名	3名	6名	14名	2名	1名	14名	40名

(5) 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入所者									1			1	2
退所者	1	1											2
月末数	40	39	38	38	38	38	38	38	39	39	39	40	464
延べ日数	880	897	836	874	874	836	874	836	897	897	780	920	10,401
延べ人数	692	810	794	817	793	804	810	773	797	794	739	860	9,483
出勤率(定員)	78.6	88.0	90.2	88.8	86.2	91.4	88.0	87.8	86.6	86.3	92.4	93.5	88.1
出勤率(現員)	78.6	90.3	95	93.5	90.7	96.2	92.7	92.5	88.9	88.5	94.7	93.5	91.2

5. 日課

(1) 月～金曜日（あきつの園活動予定）

時間	内容
8:25～	登園・職員打ち合わせ

8:45~9:00	朝礼・ウォーキング or 体操
9:00~12:00	作業・ストレッチ（途中10分休憩）
12:00~13:00	昼食・昼休み・個別相談・連絡ノート記入
13:00~15:30	作業・ストレッチ・園内清掃（途中10分休憩）
15:25~15:45	送迎（徒歩）・園内清掃
15:45~	終礼・退園・職員打ち合わせ・他

(2) 土曜日

8:25~	登園・職員打ち合わせ
8:40~11:15	朝礼・体操・作業・個別相談・連絡ノート記入
11:15~11:30	掃除
11:30~	昼食・終礼・退園・送迎
12:00~	職員打ち合わせ・他

※基本的に作業だが状況に応じてレクリエーション行事を行う。

6. 重点目標

(1) 健康・衛生

- ①感染症予防対策として、徹底した手洗い、手指消毒と検温、施設内消毒、車両消毒、換気を行う。
日々の利用者の健康状態に気を配り、体調不良時は、保護者、医療機関等と連携し迅速に対応する。生活リズムを整え、規則正しい生活を送ることの大切さを周知する。
- ②健康診断・婦人科検診・予防接種・歯科健診を年1回、体重・体脂肪測定等を毎月行い、家庭やGHに情報を提供する。家庭環境を考慮して、歯科通院、耳鼻科通院等（実費負担）を行う。
- ③朝の体操、週1回のウォーキング、ストレッチ、運動レクリエーション等を実施し、気分転換や運動機能の維持を図る。また、個別支援計画に基づき理学療法士が計画した運動プログラムを実施する。
- ④常時服薬している方の服薬管理を徹底する。災害時用の服薬（3日分）を事業所に保管し、定期的な入れ替えを行う。
 - ・感染症対策を継続し、集団生活の中で空間を分けて対策すると共に、家庭での検温、困難な方には個別に対応した。体調不良者においては、保護者と連携し迅速に対応した。
 - ・運動プログラムやレクリエーションの中に、様々なメニューを組み込み実施した。日中の活動が少ない方へ外作業参加のきっかけに繋がった。
 - ・健康や衛生に関するテーマについて、自治会を通して話し合いの機会を提供した。また、歯磨き月間を通して、正しい磨き方や歯科に関する知識を広め健康への意識向上を行なった。
 - ・希望者のみ家庭で通院が困難な方などに向けて、眼科健診を行い健康状態の把握に努めた。

嘱託医相談	内科（むらせ医院 奥平医師）	6/30・12/15
	理学療法（PT相談・指導）	5/10・8/16・9/20・11/8・12/20・2/14・12/15・3/14
健康診断	あきつの園（白十字病院健診車）	4/11
子宮がん検診	白十字病院	4/26・5/31

内科検診（健診結果）	あきつの園（白十字病院）	5/10
歯科健診（自費）	あきつの園（折笠歯科医院）	来年度実施検討
歯科健診（公費）	あきつの園（折笠歯科医院）	2/16
インフルエンザ予防接種	あきつの園（白十字病院）	11/14
体重・体脂肪測定	あきつの園	毎月第4土曜日
新型コロナワクチン接種	市役所にて実施	8/1（4回目）
耳鼻科健診（自費）	しんあきつ耳鼻咽喉科	10/21・10/26

（2）家庭・地域生活

- ①ヘルパー、短期入所の利用等、市役所・相談支援事業所等と連携し、福祉サービスの情報提供を行い、将来に向けて選択肢を広げる取り組みをする。
- ②衣類・日常生活用品の買い物、散髪等、個別のニーズに応じて実施する。
 - ・同法人せせらぎの里ショートステイや他法人でのショートステイを新規利用された方、外出の充実のためヘルパー利用を開始された方等、関係機関と連携を図り将来の選択肢を広げる取り組みをした。
 - ・コロナ禍で近年実施できなかった買い物サービスを実施し、利用者自身で商品を選ぶ楽しさや生活の充実を図る機会となった。
 - ・コロナ禍により、ヘルパー利用を控え、外出の機会が減少した利用者がいたが、事業所で可能な限り活動を行い、利用者の心身の健康に努めた。

〈テイクアウト給食 実績〉

日時	参加人数	実施場所
2/22	36名	千ちゃん、やよい軒、ピアーズ、夢者、ダンダダン酒場

〈買い物サービス 実績〉

日時	参加人数	実施場所
6/30	7名	ファッションセンターしまむら
1/31	5名	靴流通センター

（3）作業・係活動

- ①作業マニュアルを定期的に見直し周知する。作業を効果的に進めることで、平均工賃2万円を維持する。
- ②契約業者の信頼を獲得し安定した作業提供を行うと共に、作業種、作業内容を整理する。個別のニーズや特性に応じて、環境面で構造化し、小集団での作業を構築する。
- ③目標を設定し、達成感や充実感、喜びが得られるように支援する。本人の強みに着目することで潜在能力を引き出し、作業能力の向上を図る。
- ④係活動（清掃、洗濯、配膳等）を通じて、施設内の衛生的な環境を保ち、自立に向けて日常生活技術の獲得も目指す。
- ⑤労働災害や車両事故等の未然防止と再発防止に努める。
 - ・職員間で情報共有を図り、作業の進め方について再度周知し、統一された方法のもと品質を保ち、安定した収入へ繋がった。外作業について、その都度変更点や注意点など迅速に職員間で共有し、

意識を高く持ち品質の安定に努めた。

- ・安定した作業を行い、作業時に契約者より労いや御礼の言葉を受ける等、信頼に繋がった。来年度の契約を結び、安定した作業提供へと繋がった。
- ・個別ニーズに応じて環境調整を行ない、場面を変えての作業を実施した。職員配置で施設全体の安全面・円滑な作業の工夫を行なった。
- ・日々のミーティングやケース会議を通じて個々の課題を洗い出し、情報共有する事で統一された支援方法を展開した。
- ・係活動を通じて、生活面でのスキルや衛生面への意識、集団生活への個々の役割等を見出し、利用者が主体的に行動し実施した。また、自治会も活用し係活動への取り組みに向けて利用者への労いや呼びかけを行なった。

作業・就労活動

事業所内活動

(単位:円)

作業名	受注・納品先	作業内容	稼働数	参加者	令和3年度収入	令和4年度収入
受注	鈴木紙工	ショッピングバック 作成他	週5日	全員	666,453	1,131,022
清掃事業	東村山市・西武・武蔵野公園・佛眼寺・宝泉寺・他 全生園草むしり	ゴミ拾い・落ち葉掃き・トイレ掃除・ゴミ捨て・他 全生園敷地内	月20回 以上	数名	7,611,460	7,254,891
木工	国立博物館・正福寺地蔵堂・都庁・他	木工製品の作成・販売	週5日	数名	2,039,160	2,307,900
回収事業	三栄サービス	資源回収	週5日	数名	1,882,912	2,526,372
その他事業	市内・他	ポストイング・他	年数回	数名	337,073	153,419
拠点区分間	法人内	木工製品・他	不定期	数名	13,500	14,400
小計①					12,550,558	13,388,004

パート・アルバイト

(単位:円)

	受入先	作業内容	稼働日	参加者	令和3年度収入	令和4年度収入
パート契約	白十字ホーム	施設内清掃	週3日	3名	1,825,298	1,881,405
パート契約	万寿園	施設内清掃	週3日	1名		
パート契約	(株)いなげや	青果・雑用	週5日	1名		
小計②					1,825,298	1,881,405
合計①+②					14,375,856	15,269,409

工賃支払実績

(単位:円)

	総額	平均額	最高額	最低額	パート・アルバイト
4月	1,204,015	32,541	75,070	5,580	160,001
5月	787,350	20,720	46,870	4,770	129,864
6月	811,270	21,350	42,440	4,430	162,274
賞与	231,140	6,082	9,930	3,330	

7月	735,570	19,358	39,810	4,460	160,718
8月	808,700	21,282	42,290	4,500	165,041
9月	699,840	18,417	37,220	3,500	153,504
10月	817,780	21,521	41,030	4,690	162,978
11月	1,003,430	26,407	58,400	4,560	158,378
12月	794,820	20,917	44,590	4,320	157,225
賞与	239,800	6,310	10,510	3,300	
1月	1,061,640	27,222	63,350	4,440	155,717
2月	628,000	16,103	35,230	3,810	162,408
3月	1,457,680	37,377	85,020	6,240	153,297
合計	11,281,035	295,607	631,760	61,930	1,881,405
平均	940,086	24,633	52,646	5,160	156,783

※パート・アルバイトについては本人へ直接支給される。

自主生産品販売活動状況

月 日	内 容	場 所	参加利用者数
4 月	緑の祭典	中央公園	中止
5 月	ふるさとカーニバル	秋津神社	中止
6 / 1 8	菖蒲まつり	北山公園	利用者 1 名
1 0 / 1 5	コロニー祭り	青葉コロニー	利用者 1 名
1 0 月	白十字フリーマーケット	白十字ホーム	中止
1 1 / 2 7	秋津ふれあい福祉 バザー	秋水園ふれあい センター	利用者 1 名
1 1 / 3	地蔵まつり	正福寺	利用者 1 名

(4) 就労支援

- ①個別支援計画に基づき、パート勤務を希望している方へ就労支援を行う。
- ②就労意欲の維持、向上を図り、就労および生活に係る支援をする。
- ③トラブル等に迅速に対応し解決策を見だし、パート勤務が継続出来るようにサポートする。
 - ・パート就労の他、就労支援室やハローワークに登録する等、就労に繋がるアプローチを実施した。
 - ・パート希望者に対し、繰り返しの実習を積み、安定したパート就労へと繋がった。
 - ・定期的な巡回を行い、先方との信頼構築や利用者の情報交換により、安定したパート就労へのサポートを行なった。

(5) 昼食

- ①清潔で衛生的な環境整備を行う。
- ②食べる楽しみを通して仕事をする生きがいに繋げる。
- ③ソフト食や刻み食等、利用者の健康状態に合わせたメニューを可能な限り提供する。
- ④四季の移り変わりを感じていただけるように、旬の食材を使った行事食や郷土料理、世界の料理やリクエストメニューを用意し、食べる楽しみを感じてもらう。
 - ・衛生面に配慮し、清潔な状態で食事を楽しめた。また、消毒方法についても職員間で周知徹底を

行った。

- ・月に一度の給食提供者との会議を実施し、利用者からのメニューリクエストや要望等の情報交換をし、さらなる食への安全や楽しみに繋がった。
- ・利用者の高齢化や障害特性に伴い、誤飲や声掛けの必要がある利用者に対し、職員の見守りの強化をした。

栄養基準量（荷重平均値）

	熱量	蛋白質	炭水化物	脂肪	カルシウム	ビタミンB1	ビタミンB2	ビタミンC
計画	804kcal	29.0g	127.8g	23.8g	258mg	0.47mg	0.53mg	38mg
実績	609kcal	24.2g	83.3g	21.1g	115mg	0.36mg	0.28mg	32mg

(6) 自治会活動

- ①朝礼、終礼等を活用しながら、利用者の意見を引き出す。
- ②利用者自身で考え、集団の中で意見を話し合う場面を設ける。
 - ・健康に関する事、係活動や行事、他者との関わり、社会でのルール・マナーについて具体例を挙げ、利用者によるシミュレーションを行うなどして自身で考えるきっかけになった。事前に内容を検討し、準備や手順を確認し実施した。
 - ・朝礼や終礼で、利用者が自由に発言する場を設け、発言しやすい雰囲気づくりに努めた。今後はさらに特定の利用者のみならず気軽に発言しやすい方法を検討する。
 - ・法人職員による手話講習会の機会を設け、利用者の特性理解やコミュニケーション手法を学習した。

(7) 行事

①クラブ活動

種目	主な活動場所
ボウリング	年に1回開催 12/8 久米川ボウル
創作活動	園内及び、ひなたの道B型と合同開催※創作活動は、コロナ禍のため実施できず

②年間行事予定

日付	内容	場所	目的	人数
4/1	入所式・歓迎会	あきつの園	入所利用者、職員の紹介	40名
8/10	暑気払い	あきつの園	利用者・保護者・職員の親睦を深め四季を楽しむ	38名
10/19	ハロウィンパーティー	あきつの園	季節感のあるイベントを利用者・職員と楽しむ	38名
11/3	大運動会 地蔵祭り	八坂小学校 正福寺	法人全体行事 自主生産品販売(地蔵)	38名
12/8	あきつ祭代替行事 (ボウリング)	あきつの園	地域交流及び、保護者との交流会	38名
12/22	クリスマス会	あきつの園	日頃の労を労い、楽しむ	38名

1/15	成人を祝う会	東村山中央 公民館	法人全体行事、人生の節目として成人を祝う 及び、勤続を祝う	38名
1/19	新年会	あきつの園	一年の始まりを祝う、新年の挨拶、抱負、書初 め、絵馬作成	38名
3/7	バスハイク	あきつの園	利用者・職員との懇親会も含む	32名
3/28	納会	あきつの園	一年を振り返る	39名

③グループ外出

月 日	場所	参加人数
8/5	多摩動物公園	3名+㊦2名
8/29	MOVIX 昭島	3名+㊦2名
9/22	鉄道博物館	9名+㊦3名
9/29	東京駅ラーメンストリート	5名+㊦2名
10/7	サンリオピューロランド	6名+㊦3名
10/18	宮沢湖温泉	8名+㊦3名

- ・今年度は個別のニーズに沿って、小グループでの外出が実施でき、利用者の日常の楽しみや余暇の充実、仕事への意欲に繋がった。また、小グループにより個々の特性に配慮し、健康面で配慮が必要な方なども安心して参加出来た。

7. 防災訓練

①災害時の利用者の安全を図るため、防災計画に基づき、月1回の防災訓練を行う。

訓練項目	回数
園内避難訓練（火災・地震）	12回/年
消防署立ち合い初期消火・避難訓練	0回/年
警察署による講話	0回/年
施設内災害教育	0回/年

②多機能事業所の特性を生かし、幼児室ポップとの年数回の合同避難訓練の実施、避難場所に指定されている所へ移動訓練も行う。

③施設内での炊き出し訓練を実施し、防災備蓄品の確保をする。

④救急救命士による講習会を行なう。

⑤非常用の薬、処方箋、緊急連絡等の準備と管理を行う。

- ・利用者、職員で施設内の消火器の場所の確認を行なう。東京消防庁HPを活用し防災に関するクイズや動画を見て、利用者自身で考える機会を設けた。
- ・地震の場合と火災の場合と状況に応じて具体的なシミュレーションを行い、実際に起こりうる場面を想定し訓練を実施した。
- ・危険予知トレーニングを行い、自身で考える機会を設けた。
- ・今後は立川防災館へ行き、体験を通して利用者・職員への意識付けを行いたい。
- ・コロナ禍により、消防署立ち合いによる避難訓練や警察署による講和等は実施できなかった。

避難誘導訓練	あきつの園	毎年実施の自衛消防訓練効果確認は中止
消防用設備点検	(株)千代田防災	2回（10月・2月）

訓練実施日

4 / 26、5 / 20、6 / 28、7 / 22、8 / 29、9 / 26、10 / 28、11 / 11、
12 / 27、1 / 17、2 / 28、3 / 20 ※奇数月はポップ合同訓練

8. 地域との交流

- ①地域の清掃活動、回収、行事への参加等を通じて、地域住民の方々と日常的に関わりを持つ機会を意識的に作る。また、あきつの園が中心となり地域住民と一緒に地域清掃を行うイベントを企画運営し、地域に貢献する。
- ②市内小中学校への訪問活動、事業所の作業体験、ホームページ・フェイスブック・インスタグラム・地域版の広報誌を活用し、事業所の活動を理解してもらう取り組みを行う。
- ③地域の自治会と協力しながら、地域活動のお手伝いや備品の貸し出しを行い、身近な地域の相談窓口としても活用してもらう体制を整える。
- ④中学校への学ぶ会の職員派遣を行う。
 - ・保護者参加型のごみ拾いを実施し、また社会福祉協議会主催の「護美プロジェクト」に参加した。地域活動を通して保護者との交流、利用者への理解に努めた。また、地域回収やアルミ缶回収に協力を頂き、地域貢献に繋がる活動を継続した。今後は地域の方と行なうイベントやごみ拾い等を検討する。
 - ・地域交流である施設祭は実施できなかったが、広報での分野において特別支援学校の生徒や保護者に向けて施設紹介をし、事業所の活動理解や新たな選択肢としてのきっかけ作りを提供した。
 - ・市内の小中学校への訪問活動は、コロナ禍で実施できなかった。
 - ・市内のイベントについて徐々に再開し、木工品販売を通して地域との交流を行った。

9. 実習生の受け入れ（利用者・職員）

- ①地域の支援学校等より実習を受け入れ、将来の就労の場の選択肢となるように支援する。学校からのアセスメントの状況を共有し、作業環境にも配慮する。
- ②市役所、社会福祉協議会等と連携し、福祉サービスの活用に結び付かない在宅者等にも働きかけ、社会生活を送るための動機付けの機会を提供する。
- ③教員や社会福祉士を目指す学生などの実習を受け入れ、福祉の人材育成にも貢献する。
- ④中学生、小学生の体験授業の受け入れをする。
 - ・特別支援学校からの実習生を積極的に受け入れ、次年度は3名入所となる。学生の中に個別に事情のある方は複数回実習をし、出来る限りの対応を行なった。
 - ・職員実習では、コロナ禍で実習予定が変更、人数の調整が必要な場合があった。
 - ・個別に配慮が必要な方の受け入れも可能な限り実施した。
 - ・学生の実習やボランティアを受け入れ、福祉の人材育成に努めた。

対 象	実 習 内 容	期 間	人 数
支 援 学 校 生 徒（2，3 年 生）	施 設 の 日 中 活 動 体 験	6・7・9・10・11・ 12・2・3 月	7 名
支 援 学 校 保 護 者	事 業 所 説 明 会	11 月 15 日	6 名
大 学 生	介 護 体 験	5 日 × 8 回	13 名

専門学校	保育実習	12日×6回	11名
市内外の方	施設見学・実習体験	本人に合わせて調整	3名

10. 保護者会等との連携

- ①支援の充実に図るため、家族、後見人等との情報交換を密に行う。
- ②月1回全体保護者会と、年1回保護者との個別面談を開催する。
- ③講座などを組み入れ保護者の方への情報提供や気分転換の場を提供する。
- ④家族で参加できる行事を行い、交流の場とする。
- ⑤あきつの園便りを月1回配布し、園の活動状況を把握していただく。
 - ・保護者会を実施し園での様子を伝え、又、日常の様子を写真や動画で伝えるなどいろいろと工夫した。保護者との意見交換や情報共有に努めた。
 - ・コロナ禍で講座の実施は出来なかったが、園からの情報発信はお便りを活用し行なった。
 - ・保護者が参加できる行事は実施できなかったが、屋外での活動（草むしり・ごみ拾い等）で参加を呼び掛けた。
 - ・園便りにて新規入所者や職員、園での様子や保護者会の様子などを掲載し、活動の状況を発信した。
 - ・個別面談を実施。保護者と利用者のニーズを捉え、次年度の個別支援計画に反映し、情報共有の場となった。

11. 職員研修

- ①一社会人としての知識・情報を得るため、他業種の研修や見学、交流などを行う。
- ②研修の内容について、職員間で必要な情報を共有することで、職員全体の支援力向上を図る。
- ③虐待防止を徹底し、全職員を対象に研修を行う。
- ④研修予定

障害者虐待防止、権利擁護研修、社会福祉従事者人権研修Ⅰ・Ⅱ、サービス管理責任者・更新研修、法人内研修部会の定期的な開催（年2回）、初任者・中堅・上級職員研修、災害教育研修等
・研修については、虐待防止や苦情解決について職員全体で実施し、日頃の現場で実践できるような知識の習得に努めた。

研修内容

研修名	実施日	主催	場所	参加者
はじめて社会福祉を学ぶ福祉職員のためのスタートアップ研修	5月11日 ～6月22日	東京都社会福祉協議会	あきつの園	飯淵
メンタルヘルスケア研修	6月1日 6月8日 9月27日	東京都福祉保健局 医療・福祉事業所内メンタルヘルスセルフケア等スキル向上支援事業	あきつの園	鈴木
虐待防止研修「脳が誤作動を起こすとき」	6月15日	一般社団法人静岡県社会就労センター協議会	あきつの園	小林
福祉現場におけるハラスメント対応の実務	8月26日 ～10月11日	東京都福祉人材センター	あきつの園	徳田
社会福祉事業従事者人権研修	9月14日	東京都福祉保健局	あきつの園	小林

社会福祉法人・施設 会計実務 〈基礎〉研修会	8月1日 ～9月16日	東京都社会福祉協議会	あきつの園	飯淵
全国知的障害関係施設長等会議	8月1日 ～10日	公益財団法人日本知的障害者 福祉協議会	あきつの園	徳田
初任者研修	9月12日 ・13日	東京都社会福祉協議会	あきつの園	飯淵
東京都サービス管理責任者基礎研 修及び児童発達管理責任者基礎研 修	・講義:7月下旬 よりオンライン 配信 ・演習:9月2～ 10日オンライン 配信	公益財団法人総合健康推進財団	あきつの園	福島
社会福祉法人・施設 会計実務 〈決算〉研修会	12月19日 ～3月3日	東京都社会福祉協議会	あきつの園	飯淵
事故・苦情対応のリクスマネジメ ントについて	1月16日 ～2月28日	東京都社会福祉協議会	あきつの園	職員全員
ごちゃまぜの発想から地域共生社 会を考える	1月24日	東京都障害者通所活動施設職員 研修会	あきつの園	徳田
地域生活支援拠点を知ろう	2月21日	NPO 法人東京都発達障害支援協 会	三鷹産業プラザ 7階会議室	徳田
労働契約等解説セミナー2022	2月28日	厚労省委託ランゲート株式会社	あきつの園	徳田
本人中心の支援から虐待防止を考 える	3月16日	東京都社会福祉協議会	あきつの園	大竹・ 非常勤

12. 会議予定

種 目	回 数	内 容
職員会議	1回/月	施設内活動全般
評価会議	2回/年	利用者の生産性・工賃等の見直し等
生産活動会議	1回/月	健康・衛生・地域・家庭生活・就労等
ケース会議	1回/月	利用者一人一人の個別の会議・月に3名
厨房会議	1回/月	なごみの里・みどりの森・東京天竜との合同会議
研修報告会	随時	個別参加の研修報告
幼児室ポップ合同会議	1回/月	事業経過報告・他

※その他必要に応じて開催

13. 苦情解決、個人情報保護、権利擁護、虐待防止、身体拘束の適正化、セクシャルハラスメント防 止

(1) 苦情解決

- ・利用者からの苦情解決実施要項に基づき、利用者・保護者の満足感の向上を図り、適切な対応

且つ真摯に受け止め、円滑・円満な解決策を見出し再発防止に努めた。

(2) 個人情報保護

- ・個人情報保護規定に基づき、利用者調査を行い誓約書を頂き、個人情報に関する事は慎重に取り扱い、個人の権利利益を保護し、データの管理を適切且つ安全に行った。

(3) 権利擁護・虐待防止・身体拘束の適正化

- ・利用者の人権を守り、法人内の研修部会を通し自主性・主体性を尊重した支援を行った。

(4) セクシャルハラスメント防止

担当職員を配置し、セクシャルハラスメントの防止、対応にあたった。

- ・施設職員を男女1名ずつ配置し、防止・対応にあたった。
- ・車両事故・・・2件（公用車一部修理を行なう、怪我人はなし）
- ・誠実な対応を心掛けて、苦情の前に相談で解決した。
- ・虐待防止研修を事業所内で実施し、日々の言動に注意を払い、職員間での声掛けや意識向上に努めた。
- ・利用者と職員との関わり方について、距離が近い場面や呼称に改善が必要な場合があり、職員間で話し合う場を設けた。

苦情解決

	氏名	連絡先
責任者	徳田 文雄	042-392-4800
担当者	橋本 宏香	同上
第三者委員	江幡 房枝（民生委員）	同上

セクシャルハラスメント

	氏名	連絡先
責任者	徳田 文雄	042-392-4800
担当者（男性）	福島 卓	同上
担当者（女性）	鈴木 ひかり	同上

虐待防止・身体拘束の適正化

	氏名	連絡先
責任者	橋本 宏香	042-392-4800
担当者	小林 祐貴	同上